

(1) 武士政権の成立と展開(問題文:1~16番)

1:保元 2:平治 3:太政大臣 4:後白河法皇 5:壇ノ浦 6:1185 7:弓馬  
8:六波羅探題 9:泰時 10:時宗 11:高麗 12:弘安 13:防塁(または石塁)  
14:楠木正成 15:新田義貞 16:1333

【解説】

平清盛は、武士として初めて政治の最高職である太政大臣に就任しました。源頼朝が守護・地頭を設置した1185年をしっかりと覚えておきましょう。

承久の乱後に設置された六波羅探題は、朝廷の監視と西国の統轄を目的としていました。また、元寇の際、執権の北条時宗は博多湾沿いに約20kmにわたる石築地(防塁)を築かせ、防衛を強化しました。

壇ノ浦の「壇」の漢字に注意しましょう。「且」にならないように!

(2) 鎌倉新仏教(問題文:ア~キ)

ア:南無阿弥陀仏 イ:親鸞 ウ:悪人 エ:一遍 オ:題目 カ:栄西 キ:道元

【解説】

鎌倉新仏教は、不安な社会情勢の中で修行を一つに絞ることで広まりました。

特に浄土真宗の「悪人正機説(あくにんしょうきせつ)」は、自らの罪を自覚している者こそが救いの対象であると説き、多くの農民らの支持を得ました。禅宗(臨済宗・曹洞宗)は、座禅による厳しい修行が武士の気風に合い、幕府や地方武士の保護を受けました。

「南無阿弥陀仏(なむあみだぶつ)」は「念仏」です。「南無妙法蓮華経(なむみょうほうれんげきょう)」は「題目」です。違いに注意しましょう!

(3) 武士と民衆の生活(問題文:A~E)

A、B、E

【解説】

Aの誤り:犬追物(いぬおうもの)は、放たれた犬を的として追いかけて、矢を射る訓練です。問題文のように「犬と一緒に獲物を追う」ではありません。

Bの誤り:下地中分(したじちゅうぶん)は、地頭と「荘園領主(領家)」が土地を折半する仕組みです。農民と分けるわけではありません。

Eの誤り:鎌倉時代の定期市は、月に3回開かれる「三斎市」が一般的です。